

## 第3回 射水市新斎場整備基本計画検討委員会 会議概要

### 1 日 時

平成28年12月22日(木) 午前10時から午前10時40分まで

### 2 場 所

市役所305会議室

### 3 出席委員 敬称略

委員長 渡辺 幸一(富山県立大学工学部環境工学科教授)

副委員長 尾上 清逸(射水市地域振興会連合会)

委員 上田 秀永(射水青年会議所)

沖 和美(射水市婦人会)

門田 晋(社会福祉法人射水市社会福祉協議会)

白山 一男(沖塚原自治会)

舟木 康真(射水市農業委員会)

### 4 欠席委員

なし

### 5 事務局

市民生活部環境課

### 6 配布資料

射水市新斎場整備基本計画(案)

配置計画の例・外観イメージの例

参考資料1 現施設の火葬炉設備と新施設の火葬炉設備の比較

参考資料2 現斎場の排ガス測定結果

### 7 議 題

#### (1) 射水市新斎場整備基本計画(案)について

射水市新斎場整備基本計画(案)について、第2回会議を踏まえた加筆・修正点等を事務局から説明し、質疑応答、意見交換を行った。

あわせて、現施設と新施設の火葬炉設備の比較や現斎場の排ガスの測定結果に関する資料を元に新斎場の整備に伴う環境改善について事務局から説明し、質疑応答、意見交換を行った。

#### (2) 今後のスケジュールについて

年明け以降、市議会や地元住民等への説明を行い、基本計画についてはパブリックコメントを実施することとした。その上で第4回の会議を平成29年2月に開催する予定とした。(具体的な日程は後日調整)

## 8 質疑応答・意見交換の概要

**委員** ダイオキシン類対策として、基準値が現行の 5ng から 1ng になり、また、近年建てられた他市の斎場の測定結果では、それよりもさらに低い 0.1ng 未満の値となっているという説明であったが、射水市の新施設もそれと同等の設備になるという理解で良いか。

**事務局** そのとおりである。集じん装置としてバグフィルターを設置するなど同等の設備を想定している。

**委員** 射水市の現在の施設と比較して新しい施設はどのようなのか、という疑問はもとより、他市の施設と比べてどのようなのか、という疑問も市民の間には出てくると思うので、その点についてはしっかりと説明できるようにしておく必要はあるだろう。

**委員** 当然のこととは思いますが、確認の意味で、季節による寒暖の差への対策やトイレの数はどのように考えているのか。

**事務局** 待合室や待合ロビーにおける空調管理は適切に行える設備にする。また、トイレの数等については、当然必要な数を設置するが、今後の設計協議の中で検討していくことになる。

**委員** 現施設では、火葬中や式場に戻るが、新しい施設では火葬中は斎場で待つことになり、滞在時間が今より長くなるので、利用者の利便性にきちんと対応した施設としていただきたい。

必要な機能かどうか分からない部分もあるが、例えば気持ちを和ませるような BGM を流すようなことは考えられるのか。

**事務局** 事例として、地元の団体から寄附していただいて、自動演奏のピアノを置いている施設はある。音楽に関しては好き嫌いがあるので慎重な対応が必要かと思う。

**委員** トイレにはおむつ交換ができるような設備は備えるのか。

**事務局** 当然、そのような設備は必要であると思っている。

**委員** 待合ロビーにいる時間が長くなると思うが、そのロビーから見える景色として庭のようなことは考えているのか。

**事務局** たとえば、本日お示ししている配置図であれば立山連邦が見えるだろうし、また敷地内のロビーから見える場所には、庭などの緑化は必要だと思っている。

**委員** 調整池はどのような方式を考えているのか。ため池のようなことを考えているのか。

**事務局** 土地改良区との協議の中でも敷地内での調整池は必要と考えており、地下に隠すようなものではなく、ため池のような形式の調整池が良いのではないかと考えている。具体的には今後の設計協議の中での検討になるが、石積みなど自然の雰囲気を感じられるような見栄えの良い調整池が良いと思っている。

**委員** 調整池は隣のパークゴルフ場も含めてのものなのか。

**事務局** 斎場とパークゴルフ場の調整池は、それぞれ別に考えている。

**委員** ため池のような形にしておいた方が、見栄えも良いし、管理もしやすく良いと思う。

**委員** 排ガスが周囲に拡散してその影響はどれくらいかというデータは取れるのか。

**事務局** シミュレーションとしては行っている。実測した場合は、測定結果が斎場からの排ガスの影響なのか、それともたとえば周辺の道路の車両の排ガスの影響なのか、など発生源を特定することは難しい。実際には、火葬炉からの影響はほとんどなく、車の排ガスの方の影響の方が大きいのではないかと思う。

**委員** 車の排ガスはこれだけで斎場の排ガスはこれだけというふうに比較できるものがあると良い。

**委員** シミュレーションができるのであれば、例えば 100 メートル離れたらどれだけで、何メートル離れたらどれだけ、という説明ができれば良い。

**事務局** そのシミュレーションは既に行っている。

**委員** そういう説明をすると地元住民にとっても分かりやすいと思う。そこで車の排ガスの話もしてしまうと複雑になってしまうので、斎場だけを捉えて、何メートル離れた場所では影響がどれくらいか、という説明をした方が理解されやすいと思う。やはり地元理解してもらうことが一番である。

**委員** 念のための確認であるが、煙突は外部からは見えないようになるのか。

**事務局** 見えないようにする。もちろん、煙も一切上がらない。

**委員** 新斎場のイメージも見えてきたところであるが、最終的にはやはり地権者の同意ということだと思う。平成 29 年度の中頃までには同意を得たいということだと思うが、なかなか同意が得られない場合に配置を変えるということも考え方としてはあるのか。

**事務局** 市としては、現在示しているような配置がベストだと思っているので、これで進められるように努力を続けていきたい。

**委員** 太陽光パネルの設置は考えているのか。火葬炉の屋根部分に設置すると少しイメージも変わってくるかもしれない。

**事務局** 環境への配慮として自然エネルギーの活用という観点で設置する事例もあるが、一方でコスト面ではなかなか回収できないという現状もある。

**委員** 既設排水路は暗渠にするのか。維持管理面も含めてどう考えているのか。

**事務局** 現時点のイメージでは、残せる部分は開渠にしておいた方が管理面でも良いと思っている。車両が通行する部分などはどうしても暗渠にする必要があるが、先ほどの調整池のため池の話と同様に、見える部分については見栄えの良い状態にした方が良いと思っている。